

2019年9月17日

松戸市長 本郷谷 健次様

市立病院の充実を願う市民ネット
役員 関 智子
千田優子
吉野信次

2つの市立病院が、医療・介護・福祉で公的役割を果たし続けるよう求める2019年要請書

日頃より、地域住民の医療・介護・福祉・地方自治の充実にご尽力されていることに、敬意を表します。千葉県は医師数、看護師数、病床数が全国最下位クラスのままです。それを反映し、2次医療圏によっては通院に半日も要し、生活圏内で身近に受診できる内科、整形外科、小児科等の医療機関がなく、入院も遠方の地という市町村もあります。一方で国の社会保障費用の削減と医療費抑制策のもと、人間を疾患別に分類し将来人口動向等の推計をベースにした病床数配分（病床数削減）の、厚生労働省「地域医療構想調整」が進んでいます。これは、医療機関に枠をはめ地域での病床のあり方変更を強いる医療政策で、疑問や不安を抱く医療関係者や市民は、少なくありません。

ここ松戸市を含む柏市、流山市、我孫子市、野田市の東葛北部2次医療圏は、比較的医療機関に恵まれているとはいえ、人口10万人あたりの病床数は千葉県内でもさらに不足の地域ですが、同様に「地域医療構想調整」が進行中です。

そのようななかで、松戸市に生命の誕生から人生の終焉まで繋ぐ2つの公的病院があります。

わたしたち、市立病院の充実を願う市民ネットは、子育て世代から高齢世代まで、すべての市民が健康で安心して生活できる最も重要な生存環境—それが松戸市にあるとして、今後も2つの病院が医療・介護・福祉の中心で公的役割を果たし続けることを望みます。その立場で、2018年度は、2つの病院と要請懇談の場を設けて戴きました。懇談の場でわたしたちの提案に耳を傾けて戴き、広報等では改善面もありました。

しかし2019年9月9日未明の台風15号の被害状況も未だ把握されない状況下ですが、千葉県を代表する災害拠点・3次救急医療病院の1つでありながら、市立病院への市民の理解はまだ浅く感じます。多方面から市立病院の存在を知って貰うことが大切です。そのため、わたしたち、市立病院の充実を願う市民ネットは、下記の通り要請を致します。ご多忙な時期と思いますが、文書回答と懇談の場を設けていただくことをお願い致します。

【要請趣旨】

松戸市は2017年8月以降2019年3月末まで、松戸市病院事業審議会を設け、2つ

の病院のあり方等の検討を委託しました。わたしたちは、同審議会の動向を注視し、傍聴を重ねましたが、そこで3つの答申とともに、病院事業継続のために経営や組織等改善への提言も出されました。

松戸市立総合医療センターと松戸市立福祉医療センター（通称・東松戸病院）は、一体ですべての世代の市民の安心に応える大事な公立病院です。傍聴で初めて知ったこと、理解できたことは多く、それだけにその改善提案がどのように進んでいるかを知ることは市民としての権利であり、経営改善の進捗状況等の説明と今後の改善を求めます。

【要請事項】

1、2018年度病院事業経営実績をお知らせください。

（2017年度実績比、また2018年度計画目標比での到達状況）

2、松戸市病院事業審議会が提言した事項に対しての進捗状況をお知らせください。

（専門職含む市立病院職員定数拡大と採用状況、充足状況、また組織機構の見直しとそれによる改善。東松戸病院の病床変更、在宅訪問への取組状況）

3、保健予防、医療、介護等の市民向け講座を全市的に企画し、市民意識の啓発とともに、市立病院の存在を周知させるについては、広報紙へ病院の動きを適時掲載、また一定時期での集中的講座の開催、病院誌発行等を行い、市民との距離が近づいたと感じます。しかし、かかりつけ医紹介型の医療機関であるため、病院の優れた機能や地域開業医との連携等についてまだまだ市民の理解が得にくい状況です。2017年11月の松戸市立総合医療センター内覧会では、多くの市民が足を運びましたが、より病院を広報する方法の1つとして、病院内会議室を利用した講座を専門職講師で企画して下さい。

要望事項：①小児救急医療や周産期医療への地域連携と取組の実績 ②2011「3.11」東日本大震災を含め2019「9.9」発生の台風15号被害への災害・救急医療での県内外及び地域連携と対応の実績 ③松戸市東部地域拠点に高齢者の医療・介護・福祉の連携にむけた改善状況と関係医療・介護機関との連携実績 ④松戸市の『いきいき安心プランVまつど』にもとづく医療・介護連携、及び松戸市医師会が取組む松戸市在宅医療介護連携支援センターで市立病院が果たす役割。

要望事項1、2、3、4で改善が見えた事項に対し、市民に見えよう積極的に周知して下さい。

4、頻繁に発生する震災、不安定な雇用形態と生活苦、ストレスの多い社会を反映し精神を病む市民は少なくなりません。また出産や病気による鬱などの疾患と重複して、さらに精神を患う現実があり大変深刻です。せめて精神科外来があれば、早期発見・早期治療に繋がります。松戸市立総合医療センターが、早期に精神科外来を再開できるよう、引き続きご尽力下さい。

5、松戸市の2つの病院は、千葉県医療計画・東葛北部地域医療圏で千葉県立病院と同じ

役割を担っています。しかし、松戸市立病院への国や千葉県助成金の少なさが、病院経営に影響を与えています。本郷谷市長は、3次救急医療や地域周産期母子医療への千葉県助成金増額のために、議会と共に市民に見える形で働きかけし、その動きを周知してください。2018年度はそのため、どのような取組を行ったのでしょうか。また2018年度の千葉県助成金はどのようになっていますか。2019年度にむけ国や県に要望した事項があるなら、どのような内容でしょうか。

以上

ご多忙な時期に恐縮ですが、文書回答は2019年10月31日まで、また懇談は2019年11月ごろに設けて戴くよう、お願い致します。

市立病院の充実を願う市民ネット

連絡先—松戸市新松戸7-214 地域活動支援センターオレンジハウス内
090-7211-1920 (千田)